

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続  継続  主要事業  ○ 事業コード 4010115

➡ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	環境課	環境保全班

事業(予算)名 地球温暖化対策事業

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策1 自然と共生し、環境負荷の少ないまちづくり						
	施策の展開	(1) 環境保全の推進						
予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	5
関連計画・根拠法令等	富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H30	富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づきカーボン・マネジメント体制を整える。						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)において、温室効果ガス総排出量削減目標40%(2030年度)としている。						
	対象(誰・何を)	市施設						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の取組事項であるエネルギー管理システム(BEMS)導入により、インターネットを利用した電気使用量の見える化、施設ごとのエネルギーの使用状況・運転状況を把握し、天候・気温・利用時間・利用人数からエネルギー効率最適な省エネ対策を行う。また、このデータをインターネット上で取得することができるようになり、当市の利用しているエクセルデータへの変換を自動で行い、入力の手間を省き、正確なデータの確保を行う。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
BEMS設置施設件数	件	1	1	2	0	市施設全体のCO2削減に繋げる。
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
地球温暖化対策事業	市民経済環境部	環境課	環境保全班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	BEMS設置施設件数	件	—	—	2	—	4	—	
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	温暖化対策等の啓発活動の回数	回	10	10	—	—	—	—
		グリーンカーテン用種配布	回	—	—	—	—	—	—
		住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付件数	件	46	24	—	—	—	—
	成果指標*	グリーンカーテン用種配布	袋	900	未実施	—	—	—	—
		住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付件数	件	102	24	—	—	—	—
		市の事務事業における温室効果ガスの基準年度排出量に対する増減比	%	△6.0	△10.8	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	市民に対しては啓発物資等による周知により、庁内に対しては地球温暖化対策実行計画計画推進員を中心に、研修や監査により温暖化防止に対する意識を高めることができ、温暖化対策として一定の効果があったと考える。 住宅用省エネルギー設備設置補助金については、省エネ設備の設置促進に繋がり、温暖化対策として効果があったといえる。 グリーンカーテン用種配布については、平成28年度で終了となり、平成29年度は実施していない。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の取組事項であるエネルギー管理システム(BEMS)の導入により、インターネットを利用した電気使用量の見える化、施設ごとのエネルギーの使用状況・運転状況を把握し、最適な省エネ対策を行う。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続  継続  主要事業  ○ 事業コード 4010215

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	環境課	リサイクル推進班

事業(予算)名	ごみ減量事業							
総合計画体系	施策の大綱		第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち					
	施策		施策1 自然と共生し、環境負荷の少ないまちづくり					
	施策の展開		(2) 廃棄物の循環・処理					
予算科目	会計	一般	款	4	項	2	目	3
関連計画・根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法第6条第1項 一般廃棄物処理基本計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	計画期間は、平成27年度から平成36年度までの10年間とし、中間目標年度を31年度、計画年度を平成36年度とし、計画を概ね5年ごとに改訂する。						
	対象 (誰・何を)	一般廃棄物処理基本計画						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	計画を見直し、長期的、総合的な視点に立って、富里市における一般廃棄物の処理に係る基本方針を定めることを目的として、一般廃棄物処理基本計画を中間見直しをし策定する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	一般廃棄物処理基本計画中間見直しを策定するにあたり、素案の作成や集計、各種会議の運営、専門性の高い技術や知識を得るため、外部専門業者に委託する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	
一般廃棄物処理基本計画改訂	—	未改訂		改訂	2か年で策定するため。
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
1人1日当たりのごみ排出量	g/日	948.9	927	ごみ減量にむけた指標となる。	
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		( )			
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
ごみ減量事業	市民経済環境部	環境課	リサイクル推進班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	一般廃棄物処理基本計画改訂	—	—	—	—	改定	—	
		—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	ごみ減量啓発活動回数	回	2	2	—	—	—
		リサイクルフェア	回	1	1	—	—	—
				—	—	—	—	—
	成果指標*	リサイクルフェア来場者数	人	1,200	1,400	—	—	—
		1人1日当たりのごみ排出量	g	946.7	969.8	—	—	—
				—	—	—	—	

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	廃棄物の処理及び清掃に関する法律で、市は廃棄物の排出抑制について必要な措置を講じなければならない、ごみの減量化及び資源化に係る啓発活動は、施策体系に結びついている。引き続き市民・事業者に対するごみ減量啓発を実施していくとともに、ごみ減量のための効果的な手法等について検討を行い、成果の向上に努めていく。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	ごみ減量啓発活動を継続して実施し、更なるごみの減量化及び再資源化を推進していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4010215
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	環境課	クリーンセンター

事業(予算)名	清掃総務事業
---------	--------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策1 自然と共生し、環境負荷の少ないまちづくり						
	施策の展開	(2) 廃棄物の循環・処理						
予算科目	会計	一般	款	4	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、富里市一般廃棄物処理基本計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	ごみ分別収集に関する指導・啓発、不要物収集所設置補助及び日吉台ごみ真空輸送施設維持管理補助や管理棟の維持管理等を行う。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎とクリーンセンターの間に専用線を敷設し、電話を転送することにより、市民が電話を掛け直す不便を解消する。</li> <li>・土曜日や連休後は、クリーンセンターへ自己搬入する車両が多く、市道が渋滞するため、警備員2名で交通誘導を行っているが、渋滞や割込み等によるトラブルが発生している。</li> <li>・連休後の警備員の1名増と、月曜日の警備により、市道の安全とトラブル解消を図る。</li> </ul>						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	本庁舎とクリーンセンターの間に専用線の工事が必要となるため、工事を委託する。車輛の交通誘導を行うため警備員の派遣を委託する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
専用線の開通	—	不通	不通	開通	開通	業務の改善が図られるため
交通誘導の実施	実施の可否	実施中	実施	実施	実施	市道交通の安全確保が図られるため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
清掃総務事業	市民経済環境部	環境課	クリーンセンター

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	専用線の開通	—	—	開通					
	交通誘導の実施	実施の可否	—	—	実施		実施		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	ごみ集積所	箇所	1,520	1,544	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	ごみ集積所	箇所	1,520	1,544	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	ごみ集積所の数が目標値より上回った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	不要物収集所設置補助金により,ごみ集積場所の設置を促進し,クリーンセンターへの直接搬入を減らしていく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4010515
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	環境課	環境衛生班

事業(予算)名	八富成田斎場維持管理事業
---------	--------------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策1 自然と共生し、環境負荷の少ないまちづくり						
	施策の展開	(5) 八富成田斎場の適正な運営						
予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	5
関連計画・根拠法令等	斎場の管理に関する協定書							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通夜利用者等からシャワー室設置の要望がある。</li> <li>・火葬炉について、耐火材交換という部分的な修繕で対応してきたが、24年以上の長期間の使用により、火葬炉全体の交換が必要な時期を迎えている。</li> </ul>						
	対象(誰・何を)	市民(八富成田斎場利用者)						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田市、八街市、富里市の3市で共同利用している斎場施設の維持管理費について、人口割・利用割(火葬件数)及び均等割で負担している。</li> <li>・通夜から告別式まで滞在される方の利便性を図るため、シャワー室を設置する。</li> <li>・施設の長期耐用と計画的更新を図るため、長寿命化計画を策定し、改修を行う。</li> </ul>						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	安定的な施設運営を図るため、非公募選定による指定管理(成田市吉倉管理組合)としている。(成田市において、指定管理者指定)。また指定管理者以外の業務(施設維持管理等)については成田市が行っている。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
長寿命化計画	—	未策定	策定			老朽化した施設の長寿命化を図るため
火葬炉の交換	基	—		2	2	長寿命化計画に基づく施設改修を実施するため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名		部等名	課等名	班等名			
八富成田斎場維持管理事業		市民経済環境部	環境課	環境衛生班			
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	長寿命化計画	—	—	策定			
	火葬炉の交換	基	—	—	—	2	
			—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	協議会	回	1	1	—	—
		担当者会議	回	2	3	—	—
				—	—	—	—
	成果指標*	火葬利用者	人	460	466	—	—
		式場利用者	人	120	143	—	—
				—	—	—	—

\* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	斎場の維持管理, 斎場事務の管理及びそれらに関する経費負担について, 3市で協議することにより適正な斎場の運営が確保されているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	30年度に策定予定の長寿命化計画に基づき, 施設の計画的更新及び長期耐用を図る。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	